

横浜港におけるアンモニア燃料タグボートの の受入れに関する覚書を締結しました

横浜港では、2050年の脱炭素社会の実現を目指し、国や民間事業者等と連携しながら、カーボンニュートラルポートの形成を進めています。

日本郵船グループ等からなるコンソーシアムでは、アンモニアを燃料として航行する環境負荷の低いタグボートの開発を進めており、2024（令和6）年度頃の実証運航を目指しています。

本日、株式会社IHI原動機、一般財団法人日本海事協会、日本郵船株式会社及び横浜市の4者で覚書を締結し、アンモニア燃料タグボートの横浜港での円滑な受入れ等について連携していくこととしましたのでお知らせいたします。

株式会社IHI原動機
IHI Power Systems Co., Ltd.

ClassNK

 日本郵船

 OPEN
YOKOHAMA



【アンモニア燃料タグボート（イメージ）】日本郵船株式会社 提供

■ 覚書の内容

名称：「横浜港におけるアンモニア燃料タグボートの受入れに関する覚書」

締結者：株式会社IHI原動機、一般財団法人日本海事協会、日本郵船株式会社、横浜市

締結日：令和4年5月23日（月）

- 連携内容：（1）横浜港におけるアンモニア燃料タグボートの円滑な受入れの実現に関すること。
（2）横浜港におけるアンモニア燃料タグボートへの燃料供給に関すること。
（3）環境負荷低減の取組に係る市民等へのPRに関すること。
（4）その他、4者が取り組む事業に関すること。

お問合せ先

港湾局政策調整課担当課長

中村 仁

Tel 045-671-7279